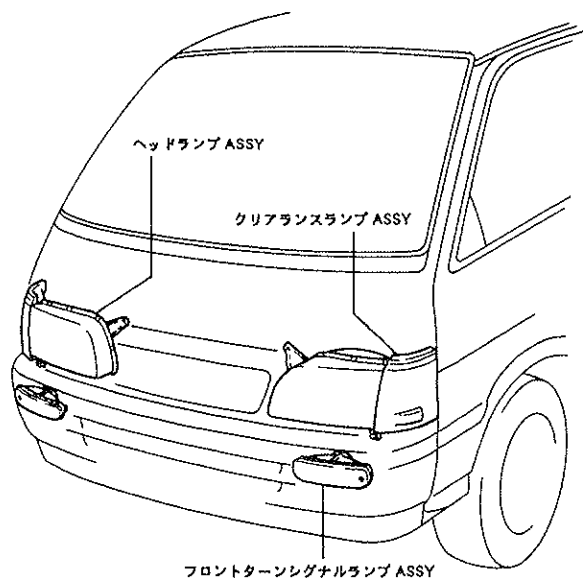
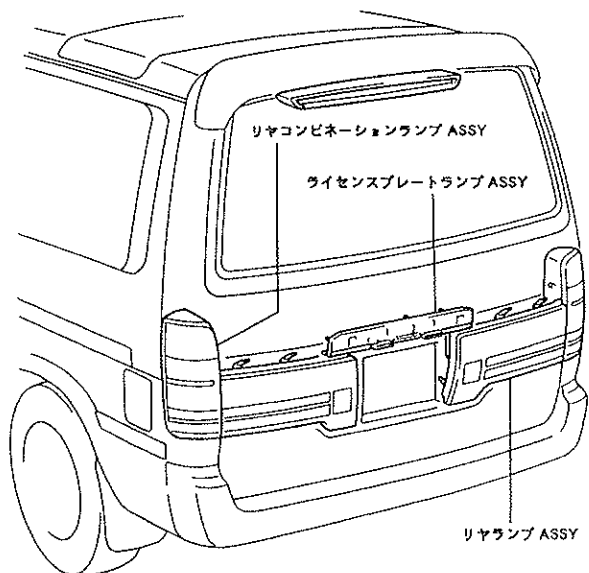


部品配置図

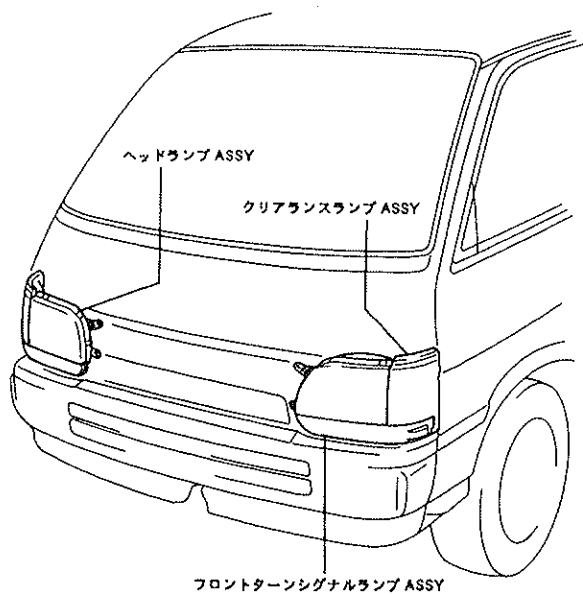
ワゴン、救急車



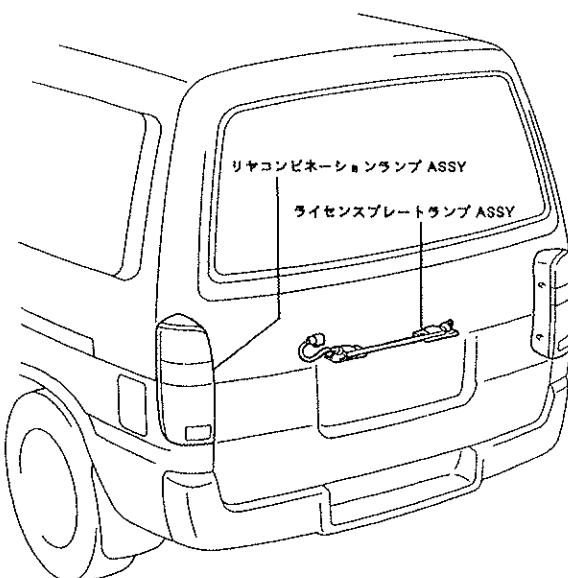
ワゴン

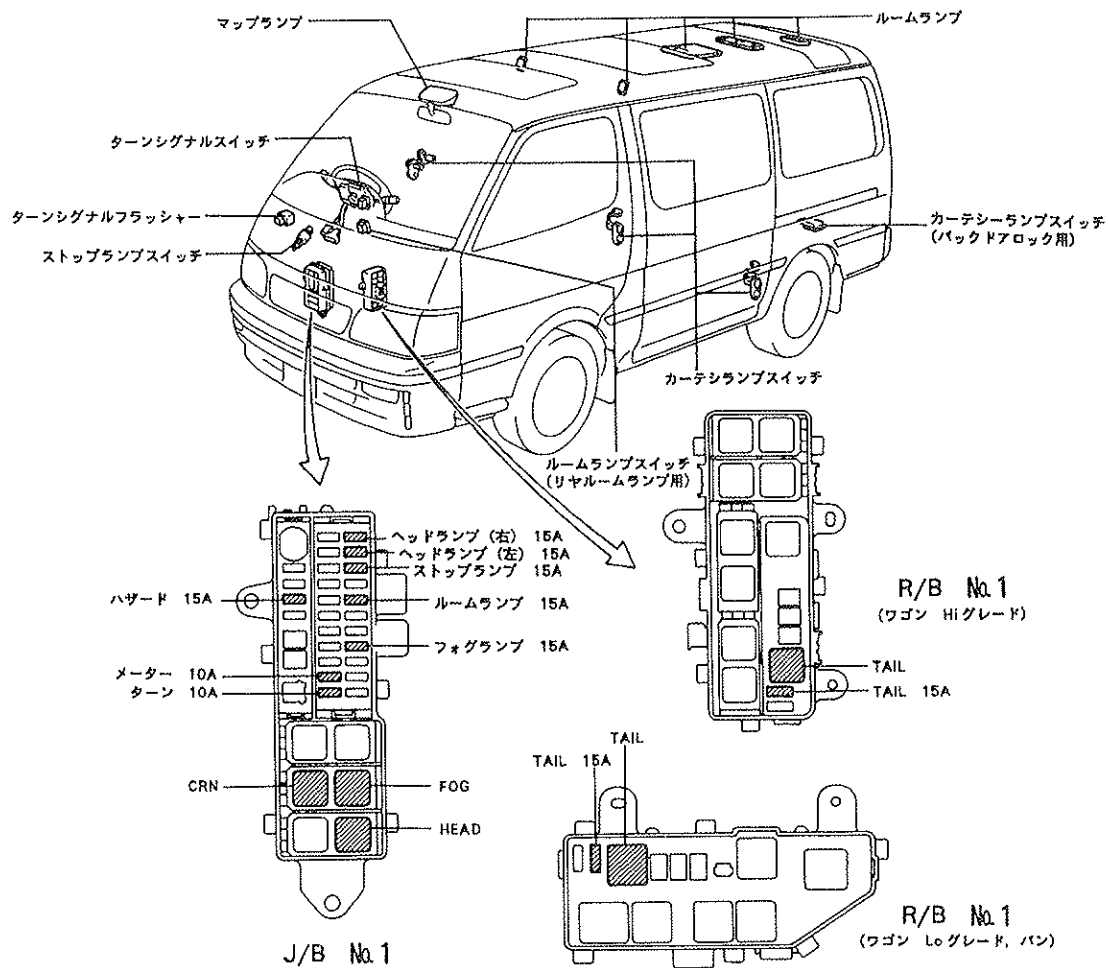


バン、コミューター



除くワゴン



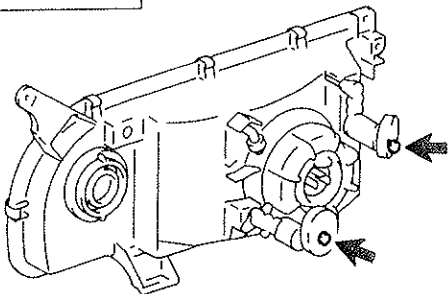


E06666

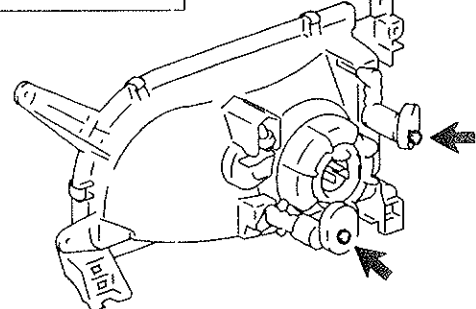
T0023201

12

ワゴン, 救急車



バン, コミューター



E06978 E06979

E06667

ヘッドランプ

ハイビーム

光軸調整

1 調整前作業

- (1) タイヤ空気圧を正規に調整する。
- (2) 運転席に1名乗車する。
- (3) エンジンを始動し、バッテリーを充電状態にする。

2 光軸調整

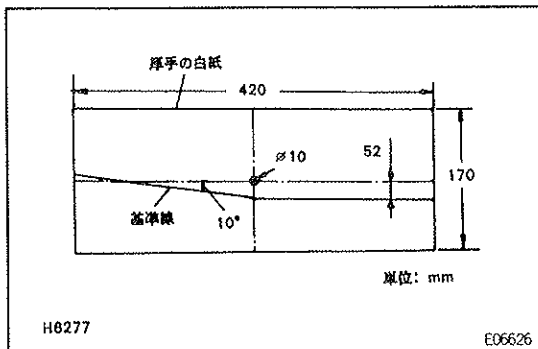
- (1) 使用するヘッドランプテスターの取り扱い要領に基づき、ハイビーム (主走行ビーム) の光軸を調整する。
 エーミングスクリューは締め込む方向で調整する。(緩め方向に調整する場合は、一度緩めてから再度締め込む。)

光度点検

1 光度点検

(1) 光軸調整後ヘッドランプテスターで光度を点検する。

基準 15,000 カンデラ以上

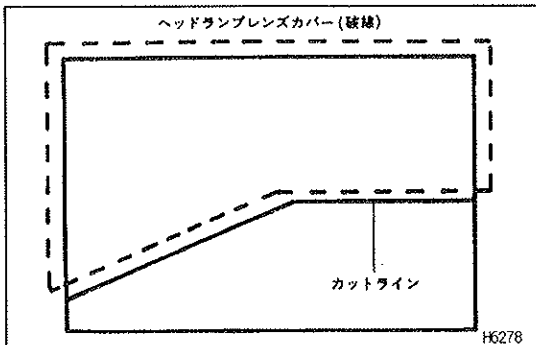


ロービーム

光軸確認

1 用紙作成

- (1) 厚手の白紙を用意する。
- (2) 図の調整用スクリーンを作成する。



- (3) 光の通らない用紙を用意し、ヘッドランプレンズのカットラインに合わせてヘッドランプカバーを作成する。

2 調整前作業

- (1) タイヤ空気圧を正規に調整する。
- (2) 運転席に1名乗車する。
- (3) エンジンを始動し、バッテリーを充電状態にする。

3 光軸確認

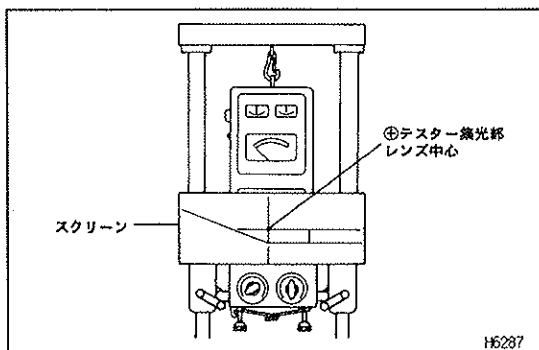
- (1) テスターとヘッドランプレンズの距離を3mにする。
- (2) 車両にテスターを正対させる。
- (3) ヘッドランプテスターをセットする。

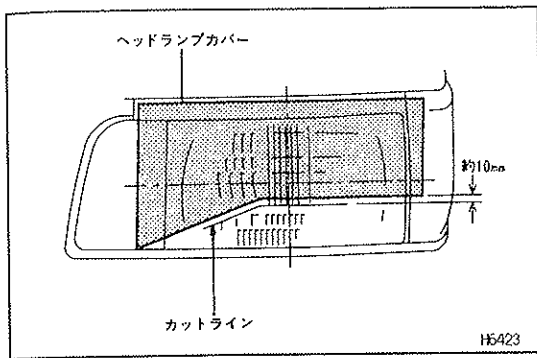
集光式ヘッドランプテスターの場合

- ① ヘッドランプ中心にテスターの集光レンズ中心を合わせる。

投影式ヘッドランプテスターの場合

- ① テスターの角度調整つまみを上下、左右とも0にする。
- ② ヘッドランプ中心にテスターの投影スクリーンを合わせる。
- (4) テスターの集光レンズ中心に調整用スクリーンの中心穴を合わせテープなどで貼り付ける。





- (5) ヘッドランプカバーをヘッドランプレンズカットラインより約10mm以上にテープなどで取り付ける。

注意 ヘッドランプが高熱になるため、ヘッドランプカバーを付けたまま長時間点灯させない。

- (6) 他方のランプの光の影響を受けない処置をする。

注意 ヘッドランプを光を通さないもので被う場合は3分以内とする。

- (7) ヘッドランプをロービームで点灯する。

- (8) スクリーンに照写されたビームの明暗分割線を基準線の位置にあることを確認する。

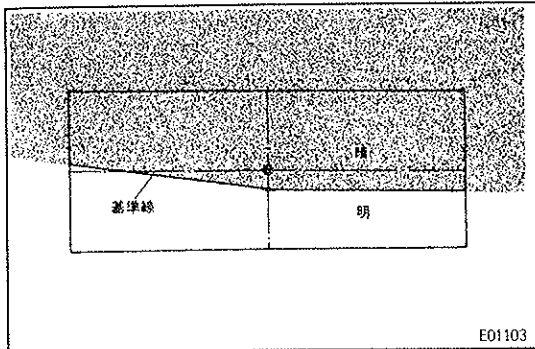
注意 基準線から大きくはずれる場合は明暗分割線を基準線の位置に調整し、再度ハイビームの光軸調整の状態に車両とテスターをセットして、ハイビームの光軸が検査基準内にあることを確認する。

〈参考〉 検査基準：下向きの振れ……前方10mで取り付け高さの1/5以内

左方向……前方10mで20cm以下

右方向……前方10mで20cm以下

(右側の前照灯は10cm以下)



フォグランプ

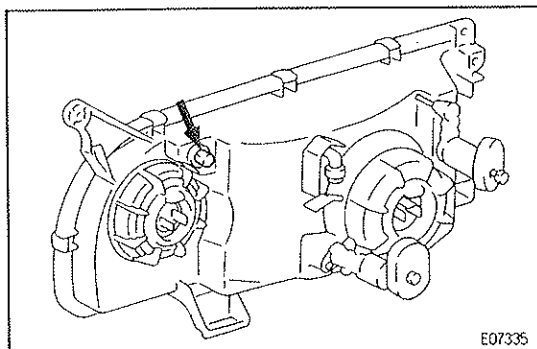
光軸確認（上下方向）

1 光軸確認

- (1) エーミングスクリューを回して調整する。

基準 40m以内を照らすこと

〈参考〉 エーミングスクリューを締めるとランプは上向き、ゆるめると下向きになる。



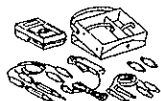
T0023202

メーター & ゲージ

T0023723

準備品

計器



09082-00012

トヨタエレクトリカルテスター

各部点検用

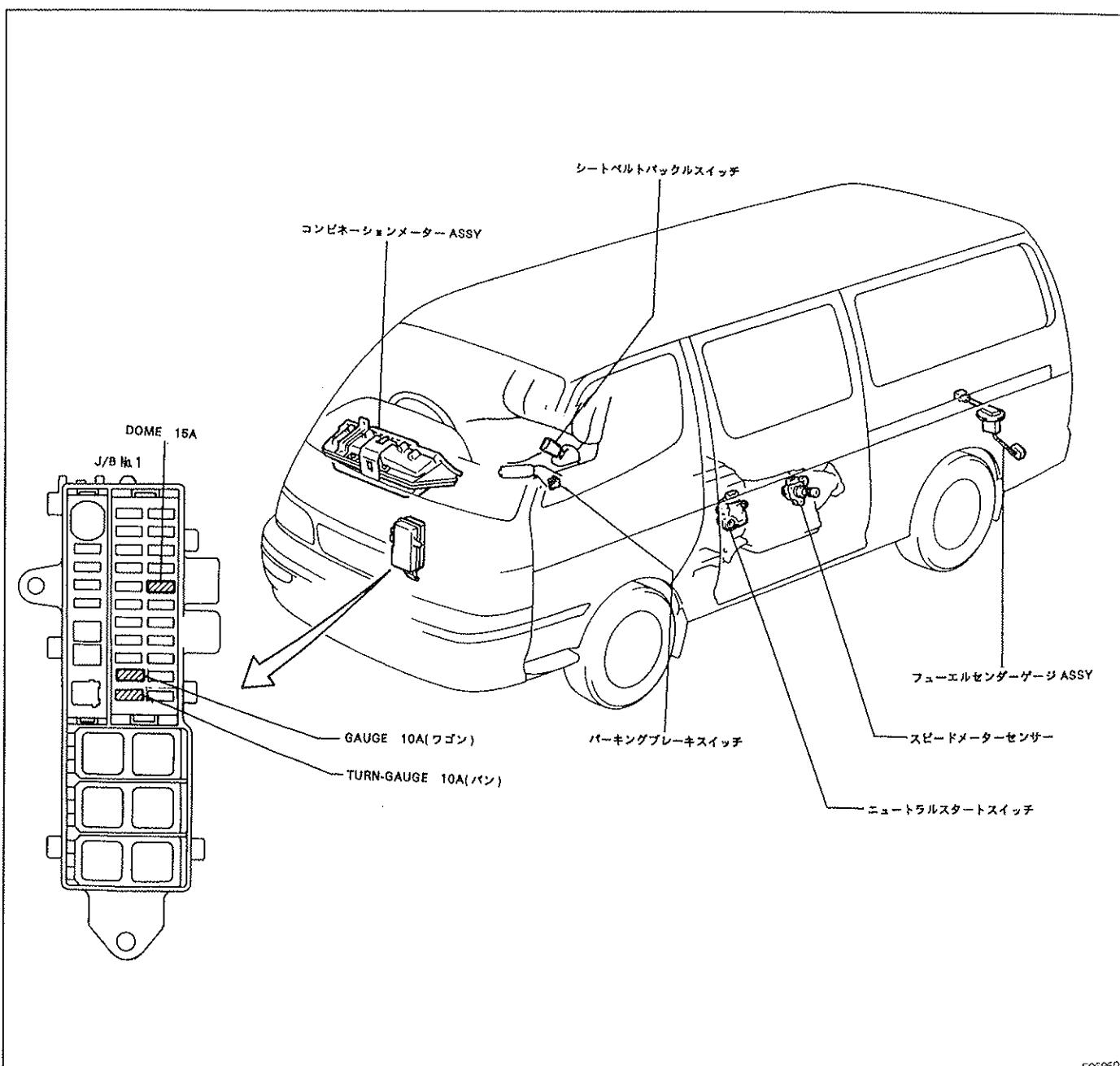
回転計

21801

タコメーター点検用

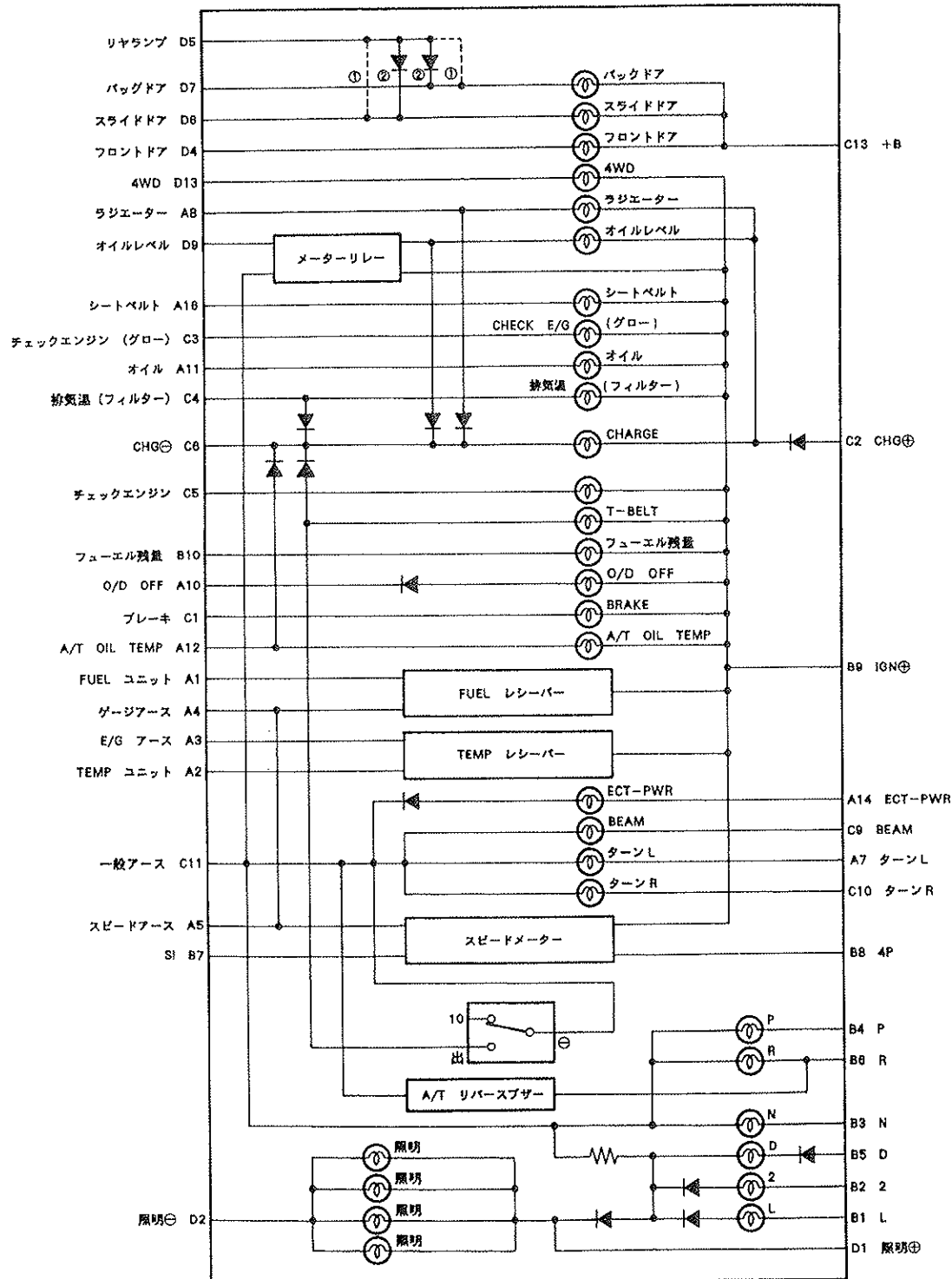
部品配置図

T0023724



回路図

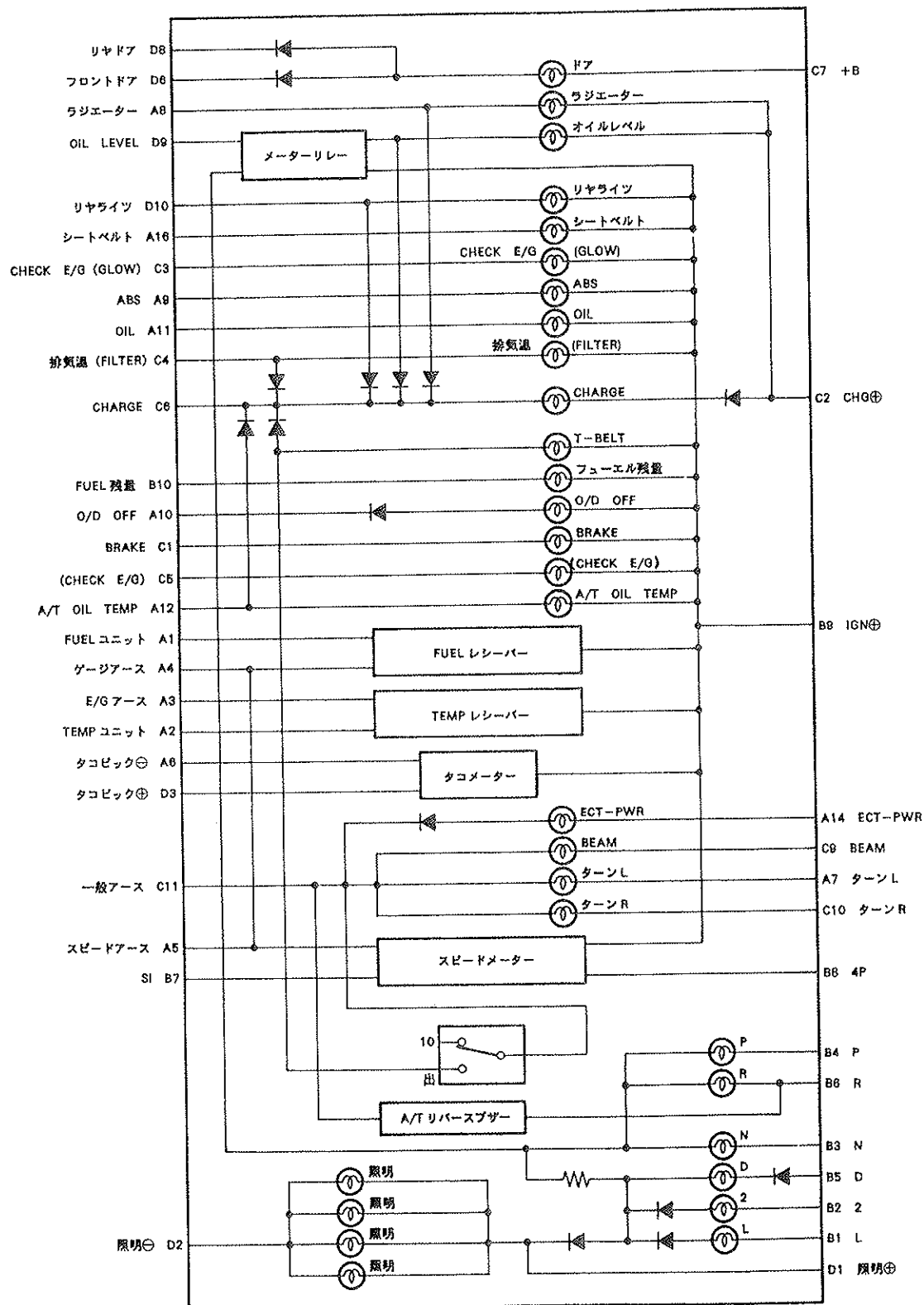
アナログメーター(タコメーターなし, TEMS なし)



① 半ドアウォーニングなし ② 半ドアウォーニング付き () 内はディーゼル車

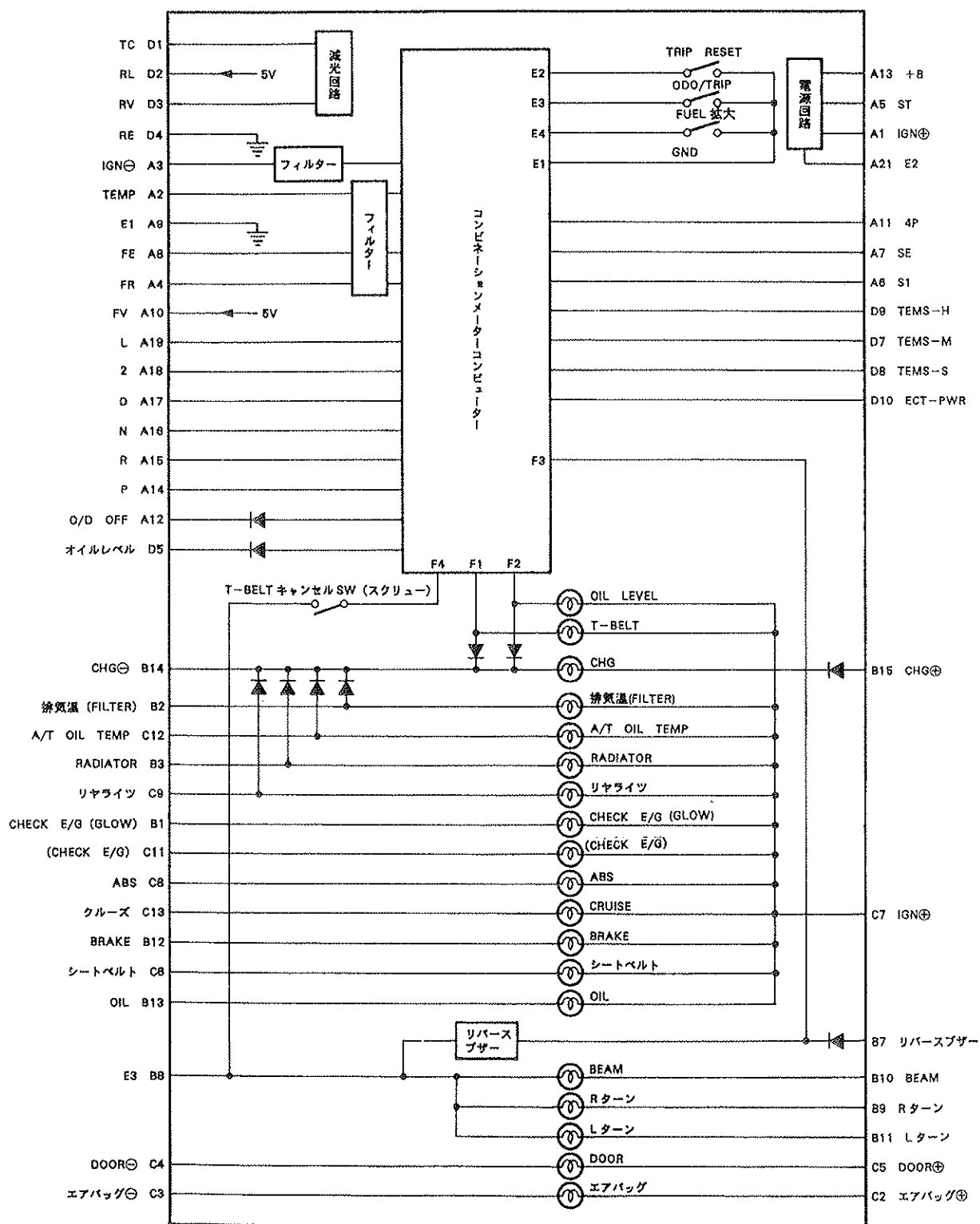
12

アナログメーター (タコメーター付き)



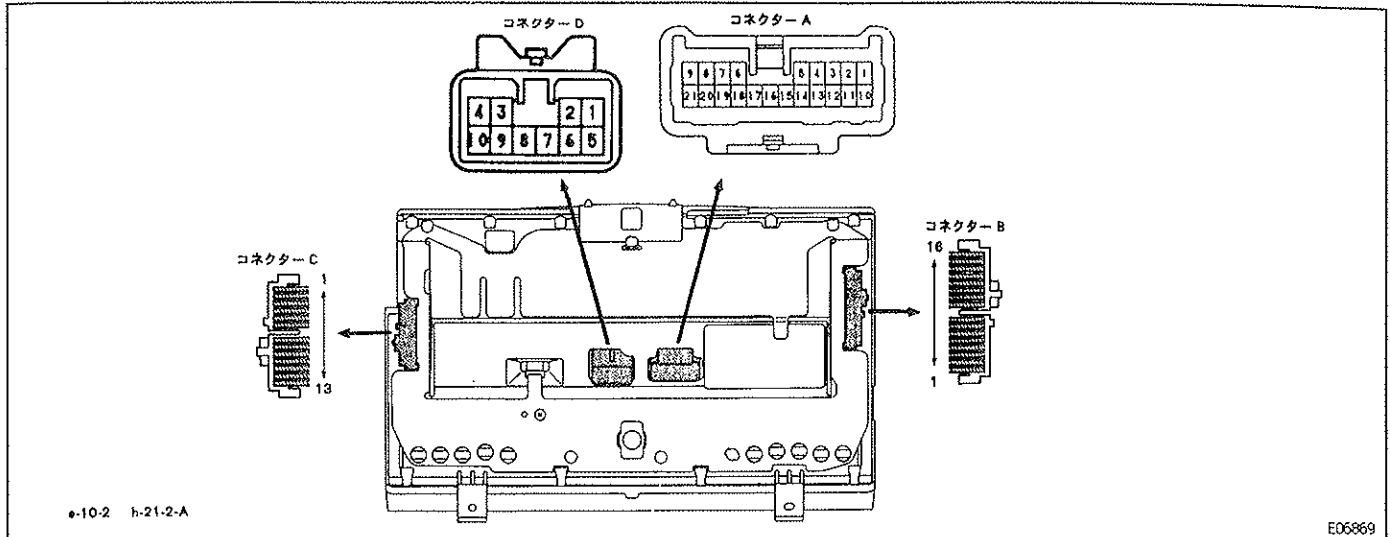
() 内はディーゼル車

2



() 内はディーゼル車

コンビネーションメーター コンピューター（デジタルメーター） 入出力信号点検



基準

コネクタ	端子番号	端子名称	入出力	テスター接続	項目	測定条件	基準
A	A1	IGN ⊕	入力	A1↔ボデーアース	電圧	IG スイッチ OFF→ON	0V→10～14V
	A2	TEMP	入力	A2↔ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, 水温 90°C 時	0.8～1.5V
	A3	IGN ⊖	入力	A3↔ボデーアース	Hz	IG スイッチ ON, エンジン停止中→エンジン回転中	バー消灯→バー点灯 波形あり※
	A4	FR	入力	A4↔ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, ガソリン満タン→空	4.6→0.3V
	A5	ST	入力	A5↔ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON→ST	0V→10～14V
	A6	SI	入力	A6↔ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON で駆動輪をゆっくり回す	0V→10～14V 波形あり※
	A7	SE	入力	A7↔ボデーアース	導通	常 時	導通あり
	A8	FE	入力	A8↔ボデーアース	導通	常 時	導通あり
	A9	E1	入力	A9↔ボデーアース	導通	常 時	導通あり
	A10	FV	入力	A10↔ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON 時	5±0.25V
	A11	4P	入力	A11↔ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON で駆動輪をゆっくり回す	0V→5～14V
	A12	O/D OFF	入力	A12↔ボデーアース	電圧	トランスミッションコントロールスイッチ ON→OFF	0V→約 11V
	A13	+B	入力	A13↔ボデーアース	電圧	常 時	10～14V
	A14	P	入力	A14↔ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, シフトレバー P レンジ以外→P レンジ	0V→10～14V

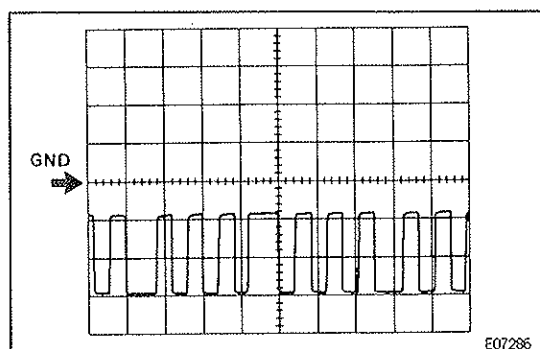
コネクタ	端子番号	端子名称	入出力	テスター接続	項目	測定条件	基準
A	A15	R	入力	A15 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, シフトレバー R レンジ以外 → R レンジ	0V → 10 ~ 14V
	A16	N	入力	A16 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, シフトレバー N レンジ以外 → N レンジ	0V → 10 ~ 14V
	A17	D	入力	A17 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, シフトレバー D レンジ以外 → D レンジ	0V → 10 ~ 14V
	A18	2	入力	A18 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, シフトレバー 2 レンジ以外 → 2 レンジ	0V → 10 ~ 14V
	A19	L	入力	A19 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, シフトレバー L レンジ以外 → L レンジ	0V → 10 ~ 14V
	A21	E2	入力	A21 ↔ ボデーアース	導通	常 時	導通あり
B	B1	CHECK ENGINE	入力	B1 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, エンジン停止中 → エンジン回転中 (ガソリン車)	0V → 10 ~ 14V
		GLOW	入力	B1 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON → 0.5 ~ 5 秒後 (グローランプ消灯後) (ディーゼル車)	0V → 10 ~ 14V
	B2	排気温	入力	B2 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, エンジン停止中 → エンジン回転中 (ガソリン車)	0V → 10 ~ 14V
		FILTER	入力	B2 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, エンジン停止中 → エンジン回転中 (ディーゼル車)	0V → 10 ~ 14V
	B3	RADIATOR	入力	B3 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, エンジン停止中 → エンジン回転中	0V → 10 ~ 14V
	B7	リバースブザー	入力	B7 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, シフトレバー R レンジ以外 → R レンジ (A/T 車)	0V → 10 ~ 14V
	B8	E3	入力	B8 ↔ ボデーアース	導通	常 時	導通あり
	B9	R ターン	入力	B9 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, ターンシグナルスイッチ 右	0V → 10 ~ 14V
	B10	BEAM	入力	B10 ↔ ボデーアース	電圧	ヘッドライト LO → HI	0V → 10 ~ 14V
	B11	L ターン	入力	B11 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, ターンシグナルスイッチ 左	0V → 10 ~ 14V
	B12	BRAKE	入力	B12 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, PKB を引いた状態 → 解放	0V → 10 ~ 14V
	B13	OIL	入力	B13 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, エンジン停止中 → エンジン回転中	0V → 10 ~ 14V
	B14	CHG ⊖	入力	B14 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, エンジン停止中 → エンジン回転中	0V → 10 ~ 14V
	B15	CHG ⊕	入力	B15 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ OFF → ON	0V → 10 ~ 14V
C	C2	エアバッグ ⊕	入力	C2 ↔ ボデーアース	電圧	常 時	10 ~ 14V
	C3	エアバッグ ⊖	入力	C3 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ ON, エンジン停止中 → エンジン回転中	10 ~ 14V → 0V
	C4	DOOR ⊖	入力	C4 ↔ ボデーアース	電圧	ドア 開 → 閉	0V → 10 ~ 14V
	C5	DOOR ⊕	入力	C5 ↔ ボデーアース	電圧	常 時	10 ~ 14V
	C6	シートベルト	入力	C6 ↔ ボデーアース	電圧	運転席シートベルト未装着 → 装着	0V → 10 ~ 14V
	C7	IGN ⊕	入力	C7 ↔ ボデーアース	電圧	IG スイッチ OFF → ON	0V → 10 ~ 14V
	C8	ABS	入力	C8 ↔ ボデーアース	電圧	ABS インジケータ 点灯 → 消灯	0V → 10 ~ 14V

コネクタ	端子番号	端子名称	入出力	テスター接続	項目	測定条件	基準
C	C9	リヤライツ	入力	C9↔ボデー アース	電圧	IG スイッチ ON, エンジン停止中→エンジン回転中	0V→10~14V
	C11	CHECK ENGINE	入力	C11↔ボデー アース	電圧	IG スイッチ ON, エンジン停止中→エンジン回転中 (ディーゼル車)	0V→10~14V
	C12	A/T OIL TEMP	入力	C12↔ボデー アース	電圧	IG スイッチ ON, エンジン停止中→エンジン回転中	0V→10~14V
	C13	CRUISE	入力	C13↔ボデー アース	電圧	クルーズコントロールメインスイッチ OFF→ON	10~14V→0V
D	D1	TC	入力	D1↔ボデー アース	電圧	ライトコントロールスイッチ TAIL レオスタットのノブ 明→暗	0V→10~14V
	D2	RL	入力	D2↔ボデー アース	電圧	IG スイッチ ON 時	5 ± 0.25V
	D3	RV	入力	D3↔ボデー アース	電圧	ライトコントロールスイッチ TAIL レオスタットのノブ 明→暗	5V → 0V
	D4	RE	入力	D4↔ボデー アース	導通	常 時	導通あり
	D5	OIL LEVEL	入力	D5↔ボデー アース	電圧	オイルレベル異常時→正常時	2.5V 以上→1V 以下
	D7	TEMS-M	入力	D7↔ボデー アース	電圧	TEMS MID 以外→MID	0.5V 以下→10~14V
	D8	TEMS-S	入力	D8↔ボデー アース	電圧	TEMS SOFT 以外→SOFT	0.5V 以下→10~14V
	D9	TEMS-H	入力	D9↔ボデー アース	電圧	TEMS HARD 以外→HARD	0.5V 以下→10~14V
	D10	ECT-PWR	入力	D10↔ボデー アース	電圧	IG スイッチ ON パターンセレクトスイッチ NORM→PWR	0V→10~14V

- (1) オシロスコープを使用して、各端子間でパルスが発生していることを確認する。

〈参考〉 基準値欄内の※印のオシロスコープ波形を掲載している。

【注意】 掲載のオシロスコープ波形は参考例であり、ノイズ、チャタリング波形等は省略してある。

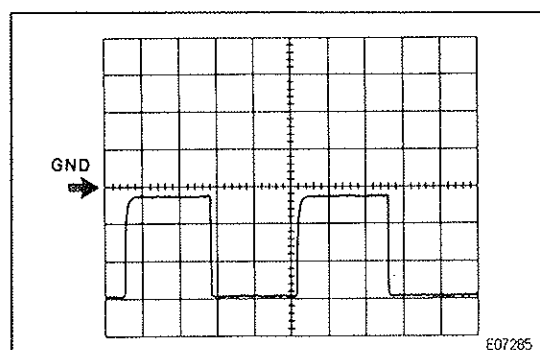


測定端子 IGN↔GND

計器セット 5V/DIV, 2ms/DIV

測定条件 4600rpm時

【注意】 エンジン回転数によって波形周期が変化する。



測定端子 SI↔GND

計器セット 5V/DIV, 5ms/DIV

測定条件 約 60km/h 走行時

【注意】 車速が高くなるに従って、波形周期が短くなる。

スピードメーター

スピードメーター点検

1 車上点検

- (1) スピードメーターテスターを使用して、スピードメーターの指示誤差と積算計の作動を点検する。

基準値

テスター指示標準速度 (km/h)	メーター指示値許容範囲 (km/h)
40	36~46
60	54~69
80	72~92
100	90~115
120	108~138
140	126~161
160	144~184

注意 タイヤ空気圧が不適正だと指示誤差が増加する。

- (2) 指針の振れを点検する。(アナログメーター)

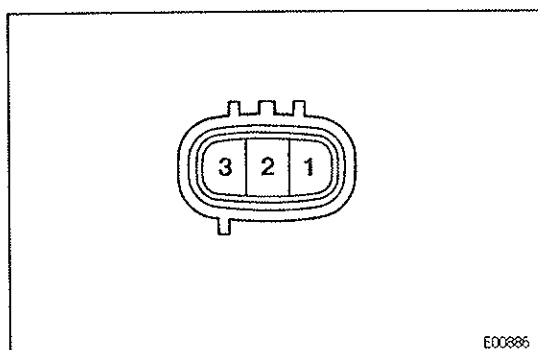
基準 指針振れ幅 0.5km/h 以内

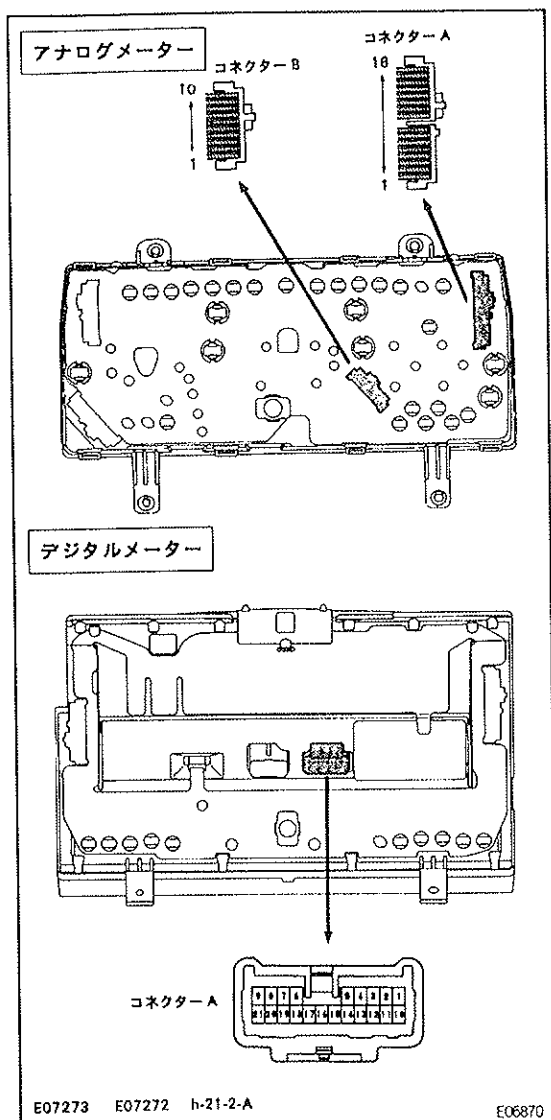
スピードメーターセンサー

1 作動点検

- (1) トランスミッションからスピードメーターセンサーを取りはずす。
- (2) スピードメーターセンサーコネクターの1 (+B) 端子にバッテリー⊕, 2 (GND) 端子にバッテリー⊖を接続する。
- (3) (2)の状態ではシャフトを回転させたときの3 ↔ 2 (出力↔GND) 端子間の電圧を点検する。

基準 シャフトを1回転させる間にHI↔LOの変化を4回繰り返す





スピードセンサー (コンビネーションメーター内)

注意 イグニッションスイッチ ON, コネクタを接続した状態で点検する。

1 作動点検

- (1) トランスミッション側スピードメーターセンサーを取りはずす。
- (2) スピードメーターセンサーのシャフトをゆっくり回転させたときの、コンビネーションメーター裏側にあるコネクタの各端子間電圧を点検する。

メーター種類	点検端子
アナログメーター	B8 ↔ A5 (4P ↔ スピードアース)
デジタルメーター	A11 ↔ A7 (4P ↔ SE)

基準 シャフトを1回転させる間に HI ↔ LO の変化を4回繰り返す

タコメーター

タコメーター点検

1 車上点検

- (1) 回転計を接続して、エンジンを始動する。
- (2) タコメーターの指示誤差を点検する。

基準値

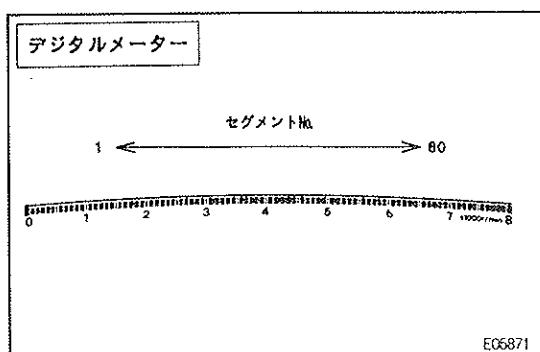
アナログメーター

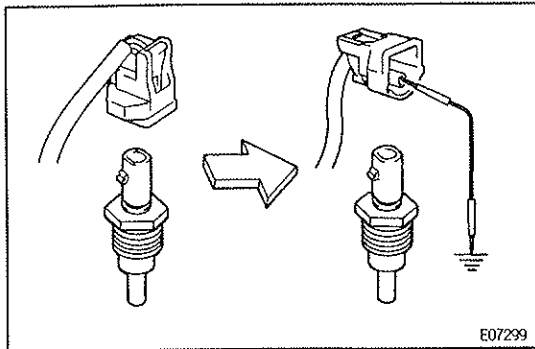
テスター指示 (rpm)	メーター許容範囲 (rpm)
700	630~770
1000	(900~1100)
2000	(1825~2125)
3000	2850~3150
4000	(3850~4150)
5000	4850~5150
6000	(5820~6180)
7000	6790~7210

デジタルメーター

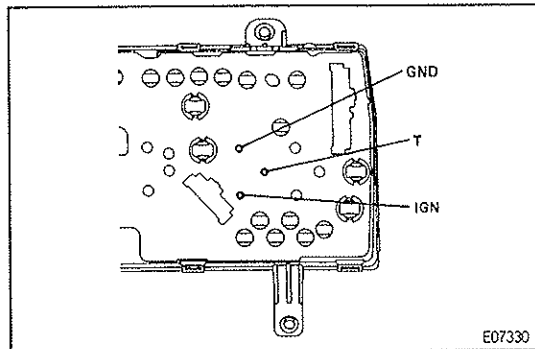
テスター指示 (rpm)	点灯セグメント
エンジン停止	0
250~450	1 ~ 4
450~550	1 ~ 5
550~650	1 ~ 6
...	...
3950~4050	1 ~ 40
4050~4250	1 ~ 41
4250~4450	1 ~ 42
...	...
7850~8050	1 ~ 60

注意 エンジンを許容回転数以上（メーターに表示されているレッドゾーン回転数以上）に回転させない。





E07299



E07330

ウォーターテンパラチャゲージ

ウォーターテンパラチャレシーバーゲージ点検

アナログメーター

1 作動点検

- (1) ウォーターテンパラチャセンサーゲージのコネクターを切り離す。
- (2) イグニッションスイッチを ON にしたとき、ウォーターテンパラチャレシーバーゲージの指針が C を示すことを確認する。
- (3) (2)の状態からウォーターテンパラチャセンサーゲージより切り離した車両側コネクターをアースさせたとき、ウォーターテンパラチャレシーバーゲージの指針が H を示すことを確認する。

2 抵抗値測定

- (1) ウォーターテンパラチャレシーバーゲージの 3 箇所の端子間抵抗を測定する。



・各端子のネジを取りはずして行う。

・トヨタエレクトリカルテスターを使用し、極性を間違えない。

参考値

測定端子名 (⊕ ↔ ⊖)	抵抗値 (Ω)
IGN ↔ T	約 118
IGN ↔ GND	約 210
T ↔ GND	約 97

デジタルメーター

1 作動点検

- (1) ウォーターテンパラチャレシーバーゲージの表示と水温を確認する。

基準

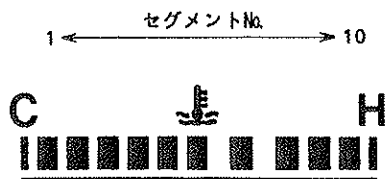
セグメント No.	水温 (°C)	セグメント No.	水温 (°C)
1	50 以下	6	80~105
2	50~60	7	105~110
3	60~65	8	110~115
4	65~70	9	115~120
5	70~80	10	120 以上

- (2) センダーゲージのコネクターを切り離す。
- (3) イグニッションスイッチを ON にしたときレシーバーゲージの表示を確認する。

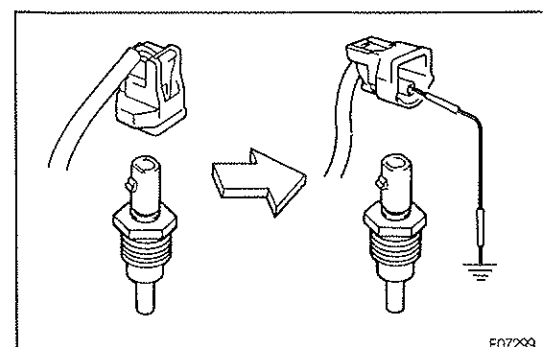
基準 セグメント No. 1 のみ点灯

- (4) センダーゲージから切り離した車両側コネクターをアースさせてレシーバーゲージの表示を確認する。

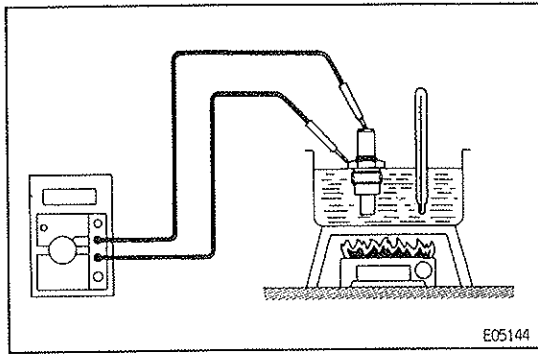
基準 セグメント No. 10 のみ点灯および点滅



E06874



E07299



ウォーターテンパラチャセnderゲージ

1 抵抗値測定

- (1) ゲージ端子とゲージボデー間の抵抗値を測定する。

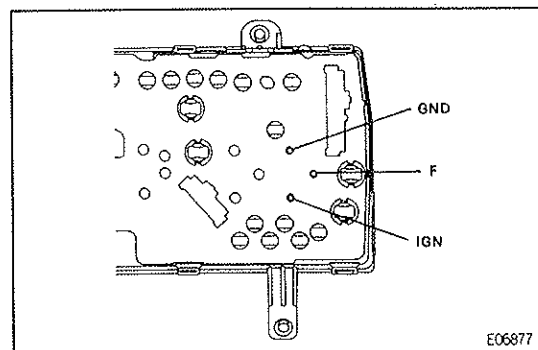
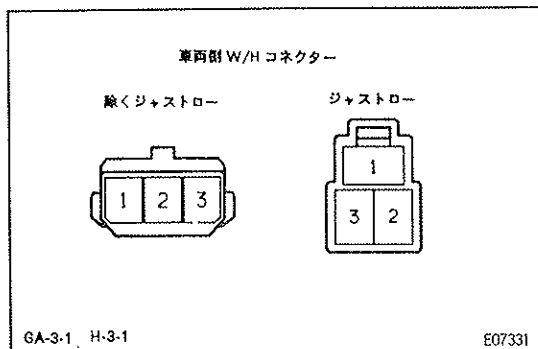
基準値

ND 製

温度 (°C)	抵抗値 (Ω)
50	160~240
120	17.1~21.2

矢崎製

温度 (°C)	抵抗値 (Ω)
60	142.6~173.1
115	22.5~25.6



フューエルゲージ

T0028781

- 注意** ガソリン補給の際は必ずイグニッションスイッチを OFF にしておく。

フューエルレシーバーゲージ点検

アナログメーター

1 作動点検

- フューエルセンサーゲージのコンネクターを切り離す。
- イグニッションスイッチを ON にしたとき、フューエルレシーバーゲージの指針が E を示すことを確認する。
- (2)の状態からフューエルセンサーゲージの車両側 W/H 側コンネクターのゲージ⊕⇔ゲージ⊖端子間を短絡し、フューエルレシーバーゲージの指針が F を示すことを確認する。

除くジャストロー…………… 1 ⇔ 3 端子間

ジャストロー…………… 3 ⇔ 2 端子間

- 注意** ゲージの指針が落ち着くまで待つこと。

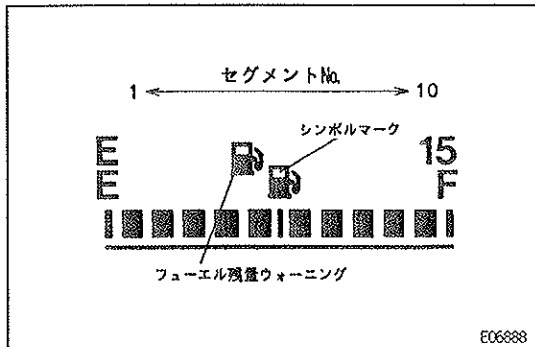
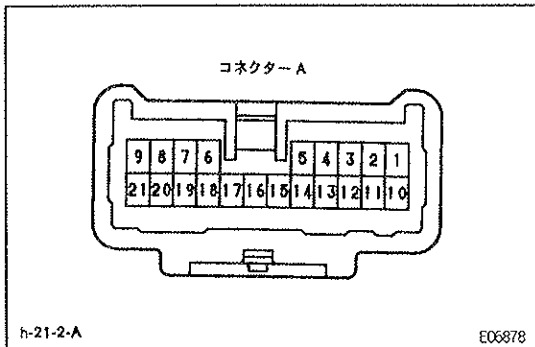
2 抵抗値点検

- (1) フューエルレシーバーゲージの各端子間の抵抗値を測定する。

- 注意** ・各端子のネジを取りはずしてから行う。
・トヨタエレクトリカルテスターを使用し、極性を間違えない。

参考値

測定端子名 (⊕⇔⊖)	抵抗値 (Ω)
IGN⇔GND	約 220
F⇔GND	約 98
IGN⇔F	約 124



デジタルメーター

1 作動点検

- (1) メーターコネクター A の 4↔8 (FR↔FE) 端子間の電圧と、フューエルレシーバーゲージの表示を確認する。

基準

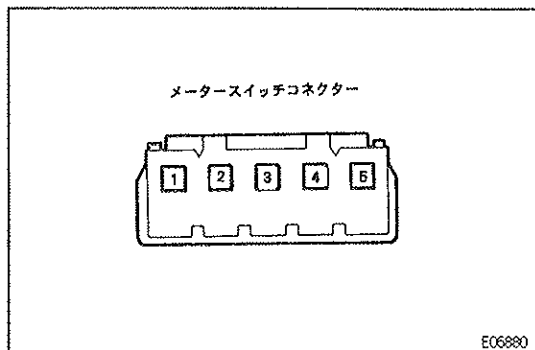
普通表示

表示	F	1/2
セグメント No.	1~10	1~5
電圧 (V)	4.36 以上	3.28~3.02
容量 (ℓ) (参考)	約 63	約 35
表示	—	E
セグメント No.	1~2	1
電圧 (V)	2.5~1.5	1.5~0.5
容量 (ℓ) (参考)	約 17	約 6

拡大表示

セグメント No.	1~10	1~5	1
電圧 (V)	2.3 以上	1.5~0.7	0.7~0.5
容量 (ℓ) (参考)	約 16	約 11	約 7

2

メータースイッチ点検 (デジタルメーター)
(スケールチェンジ)

1 導通点検

- (1) コンビネーションメーター ASSY からスケールチェンジスイッチを取りはずす。
- (2) メータースイッチ (SCALE CHANGE) を押したときのコネクター 4↔5 端子間の導通を点検する。

基準 スイッチ ON……………導通あり

スイッチ OFF……………導通なし

フューエルセンサーゲージ

アナログメーター

1 抵抗値測定

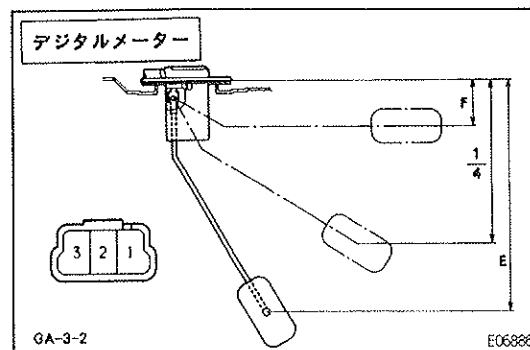
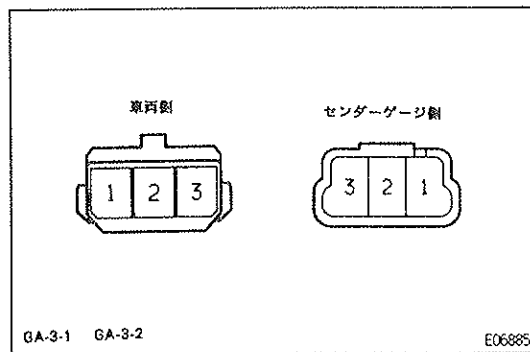
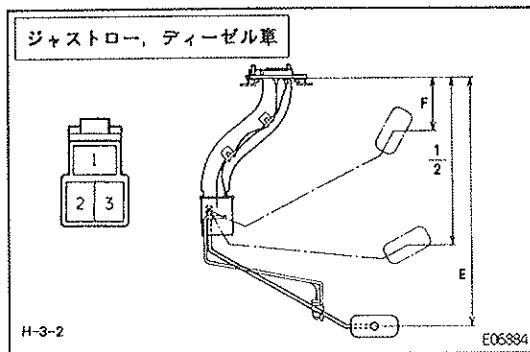
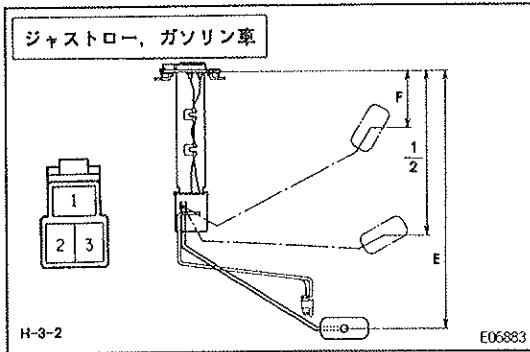
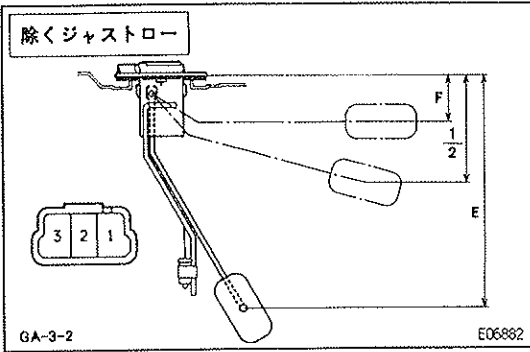
- (1) フューエルセンサーゲージを取りはずし、フロートがスムーズに動くことを確認する。
- (2) フロートの位置を E 点～F 点間で変化させたときのセンサー⊕⇔アース⊖端子間の抵抗値を測定する。また、抵抗値が連続的に変化することを確認する。

除くジャストロー……………1⇔3 端子間

ジャストロー……………3⇔2 端子間

基準値

レベル	フロートの位置 (mm)	抵抗値 (Ω)
F	38.5	1～4
1/2	89.9	29.5～35.5
E	249.7	105～115



デジタルメーター

1 回路点検

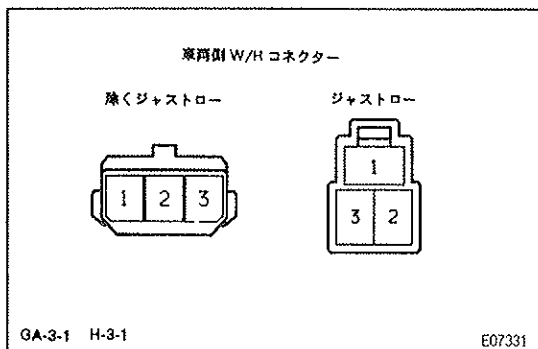
- (1) フューエルセンサーゲージを取りはずし、フロートがスムーズに動くことを確認する。
- (2) フューエルセンサーゲージからコネクタを切り離し、イグニッションスイッチ ON 時の車両側コネクタの端子電圧を点検する。

基準値 1⇔3 (FV⇔FE) 端子間電圧……………5 V

- (3) コネクタを接続し、フューエルセンサーゲージのフロートを動かした時の 2⇔3 (FR⇔FE) 端子間電圧を点検する。

基準値

レベル	フロートの位置 (mm)	電圧 (V)
F	38.5	4.6±0.2
1/4	138.0	2.5±0.2
E	195.4	0.3±0.1



フューエルレシーバーゲージ

ウォーニング

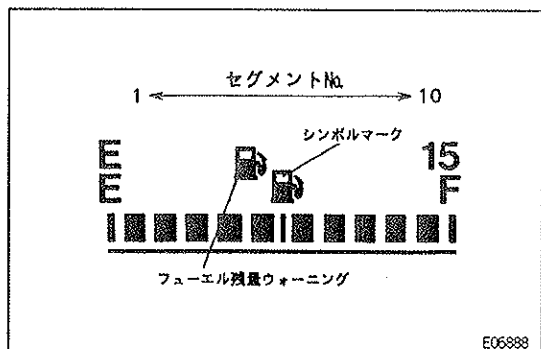
フューエルレシーバーゲージウォーニング点検

注意 ガソリンを使用するときは火気に十分注意する。

アナログメーター

1 作動点検

- (1) フューエルセNDERゲージのコネクターを取りはずす。
- (2) イグニッションスイッチをONにする。
- (3) フューエルセNDERゲージの車両 W/H 側コネクターのゲージウォーニング端子⇄ゲージ⊖端子間を短絡したとき、フューエルウォーニングランプが点灯することを確認する。
除くジャストロー……………2⇄3端子間
ジャストロー……………1⇄3端子間



デジタルメーター

1 作動点検

- (1) フューエルセNDERゲージを取りはずす。
- (2) フロートをFレベルからEレベルに徐々に動かし、フューエルセNDERゲージの表示とフューエルウォーニングランプの表示を確認する。
注意 表示を確認する前に、イグニッションスイッチのOFF、ON操作を必ず行う。

基準

普通表示

セグメント 10～2 消灯時……………ウォーニング表示

拡大表示

セグメント 10～6 消灯時……………ウォーニング表示

ウォーニング表示時はシンボルマークが消灯

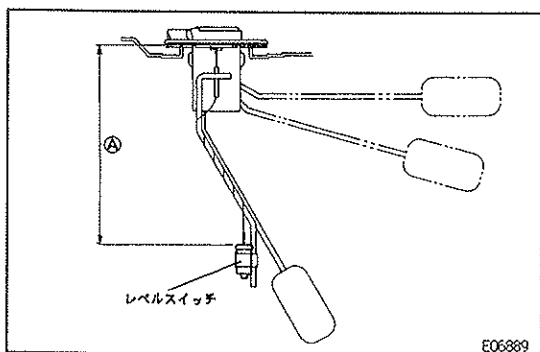
フューエルセNDERゲージ (レベルスイッチ) (アナログメーター)

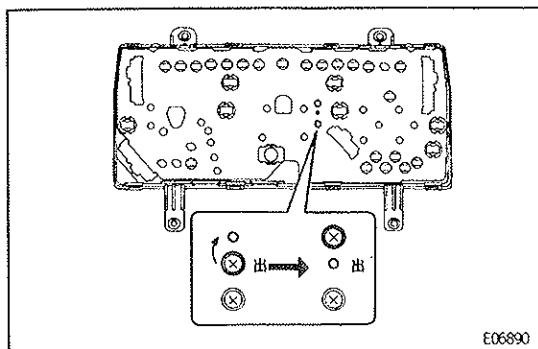
1 レベルスイッチ点検

- (1) コネクターを接続し、イグニッションスイッチをONにしてレベルスイッチをガソリンの中に入れたとき、バルブが消灯することを確認する。
- (2) レベルスイッチの取り付け高さ④を点検する。

基準

除くジャストロー……………154.8mm
ジャストロー (ディーゼル) ……283.9mm
ジャストロー (ガソリン) ……283.7mm



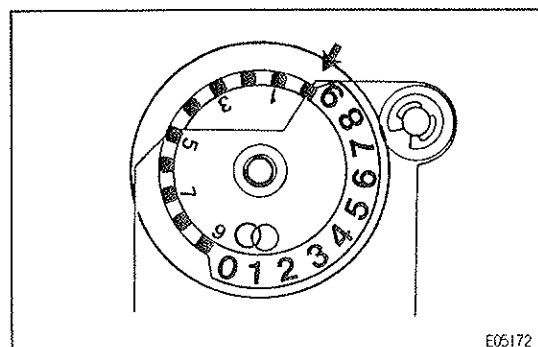


T-BELT ウォーニング

アナログメーター

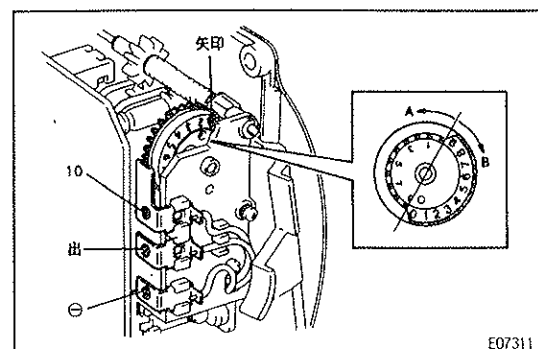
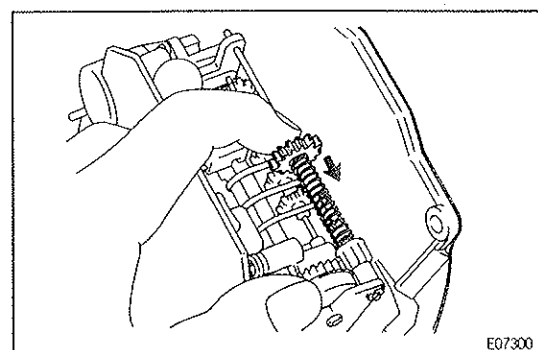
T-BELT ウォーニングリセット方法

- (1) 10 万km走行で T-BELT ウォーニングランプが点灯し、ベルトを交換した場合は、メーター裏側の T-BELT キャンセル用スクリューを“出”のから上側の穴に付け替える。
- (2) エンジン始動後、ウォーニングランプが消灯していることを確認する。



T-BELT 用マイクロスイッチ点検

- (1) コンビネーションメーター ASSY を取りはずす。
- (2) スピードメーターに組み付いている T-BELT 用マイクロスイッチの表示数字を読み取る。



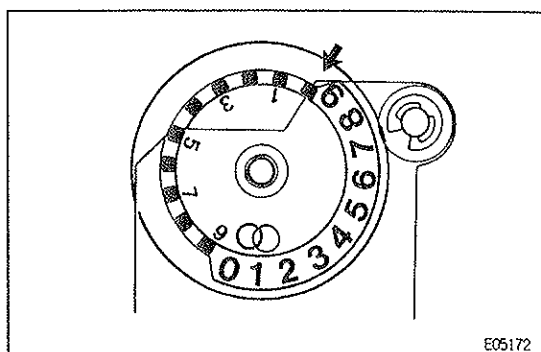
- (3) オドメーター上部に付いているギヤのかみ合いをはずし、マイクロスイッチ用カムを回したときの各端子間の導通を点検する。

基準 図の矢印部位が A のとき

“出” 端子 ↔ ⊖ 端子間……………導通なし
10 端子 ↔ ⊖ 端子間……………導通あり

図の矢印部位が B のとき

“出” 端子 ↔ ⊖ 端子間……………導通あり
10 端子 ↔ ⊖ 端子間……………導通なし

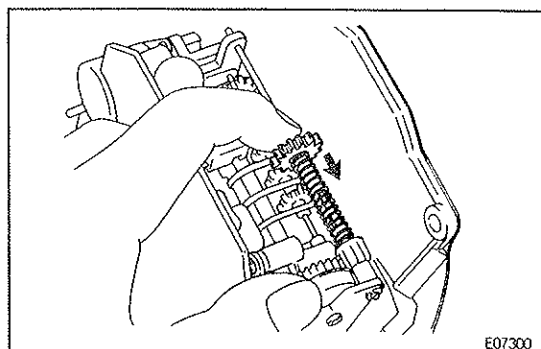


E05172

T-BELT ウォーニング調整

スピードメーターを交換する場合

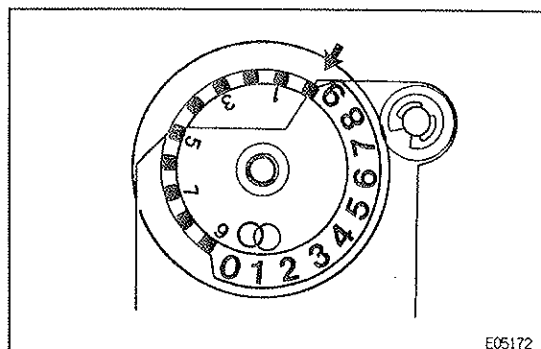
- (1) コンビネーションメーター ASSY を取りはずし、スピードメーターを取りはずす。
- (2) スピードメーターに組み付いている T-BELT 用マイクロスイッチの表示数字を読み取る。



E07300

- (3) 新しいスピードメーターのオドメーター上部に付いているギヤのかみ合いをはずし、T-BELT 用マイクロスイッチの表示数字を合わせ、ギヤをかみ合わせる。

注意 数字設定ライン上にカムの数値または目盛の中心を合わせる。

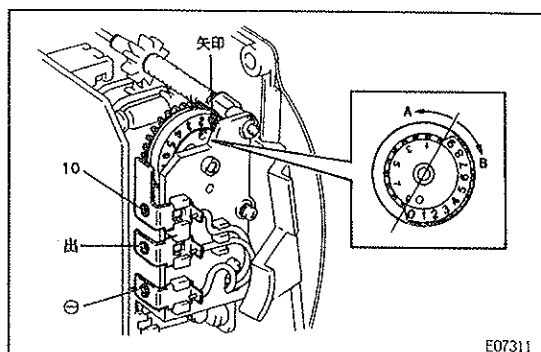


E05172

〈参考〉 図の矢印部分の数字が0になるとマイクロスイッチが切り替わる。

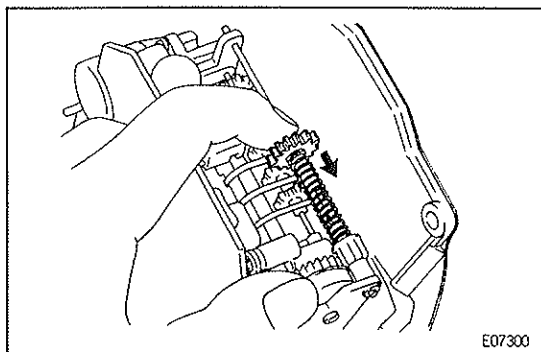
- (4) スピードメーターをコンビネーションメーターに取り付け、車両に取り付ける。

2



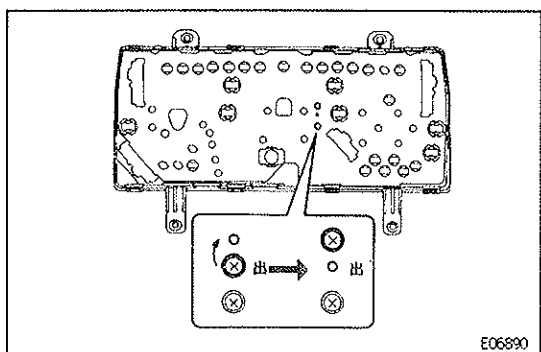
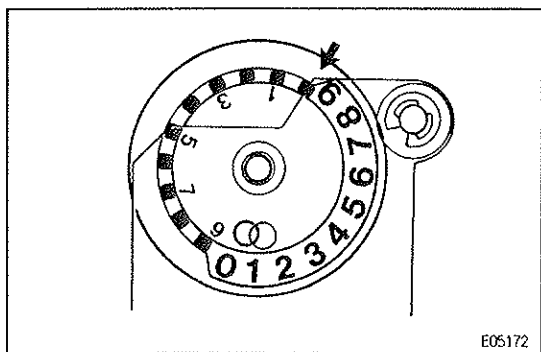
E07311

注意 図の矢印部分が A の場合は T-BELT キャンセル用スクリューを“出”の位置に、B の場合は“10”の位置に取り付ける。



ウォーニングランプ点灯前にタイミングベルトを交換した場合

- (1) コンビネーションメーター ASSY を取りはずし、スピードメーターを取りはずす。
- (2) スピードメーターのオドメーター上部に付いているギヤのかみ合いをはずし、カムを図の位置に合わせる。
- (3) スピードメーターをコンビネーションメーターに取り付け、車両に取り付ける。
- (4) エンジンを開始し、ウォーニングランプが消灯していることを確認する。



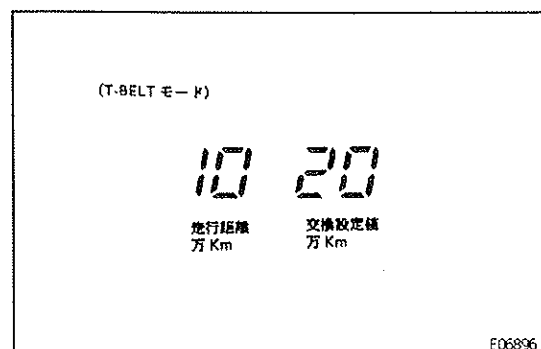
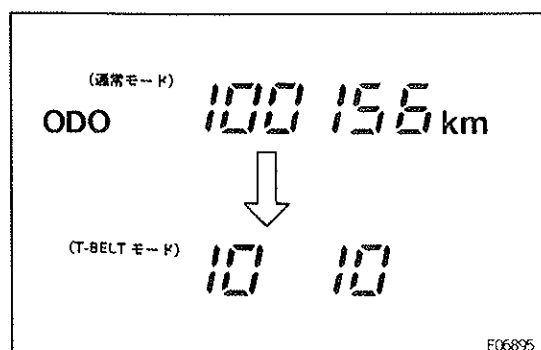
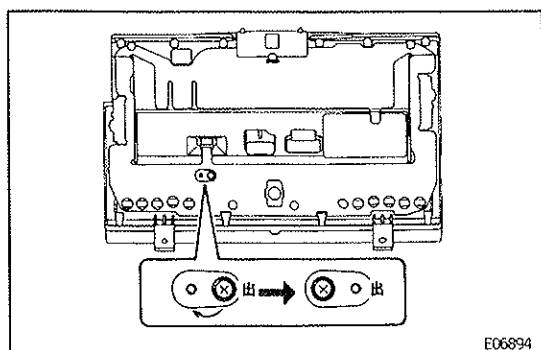
注意 ウォーニングランプが消灯しない場合はT-BELT キャンセル用スクリーウの位置を入れ替え、ウォーニングランプを消灯させる。

デジタルメーター

T-BELT ウォーニング調整

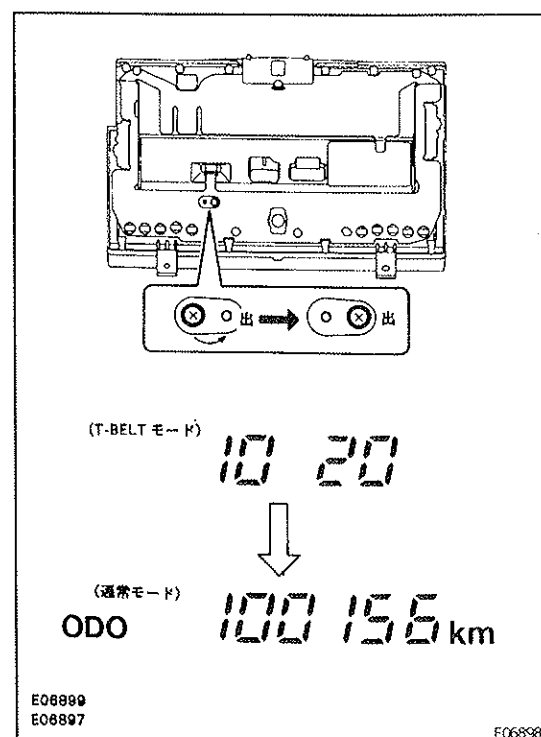
10 万km 走行後、ランプ点灯によりベルト交換した場合

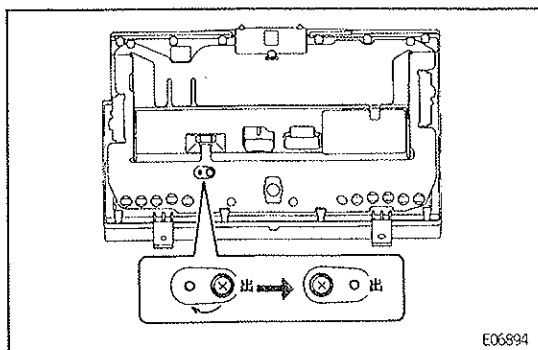
- (1) コンビネーションメーターを取りはずす。
注意 コネクターは接続したままにしておく。
- (2) メーター裏面の T-BELT モード用スクリューを入れ換える。
 (T-BELT モード ON)
注意 イグニッションスイッチは OFF で行う。
- (3) イグニッションスイッチを ON にし、メーターの ODO/TRIP 表示部が "10" "10" であることを確認する。(20 万km 走行時は "20" "20" になる)



- (4) ODO/TRIP 切り替えスイッチを押して、交換設定値を書き換える。(+10 万km)
参考 10 万km 走行時は 1 回のみ押せて、10 万km 加算される。
- (5) T-BELT モード表示が "10" "20" になっていることを確認する。

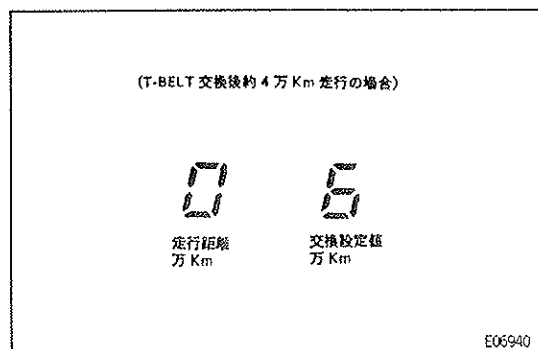
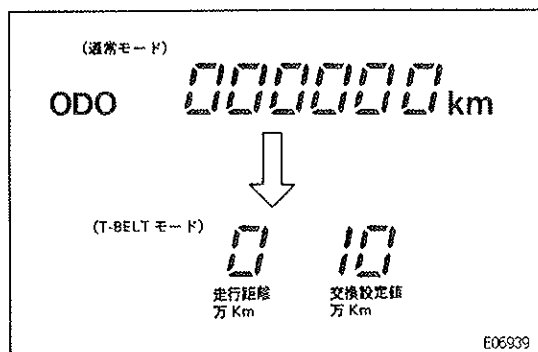
- (6) メーター裏面の T-BELT モード用スクリューを初期位置 (出) に入れ換える。(T-BELT モード OFF)
- (7) エンジンを始動し、ウォーニングランプが消灯して ODO 表示に戻っていることを確認する。
- (8) コンビネーションメーターを取り付ける。





メーター ASSY を交換する場合

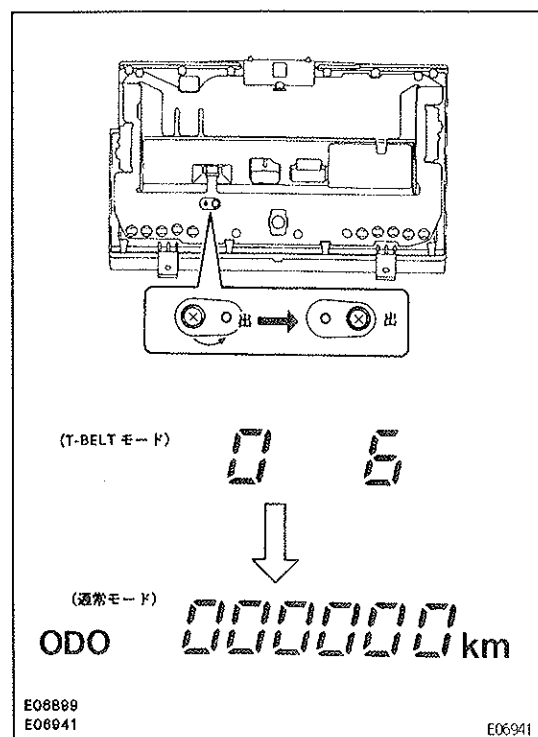
- (1) 故障メーターの走行距離を整備手帳等で確認する。
 〈参考〉 メーター不灯故障の場合、距離確認が出来ない。
- (2) コンビネーションメーターを取りはずす。
- (3) 新品のメーターにコネクターを接続する。
注意 イグニッションスイッチは OFF で行う。
- (4) メーター裏面の T-BELT モード用スクリューを入れ換える。
 (T-BELT モード ON)
- (5) イグニッションスイッチを ON にする。
- (6) ODO/TRIP 表示部が "0" "10" になっていることを確認する。



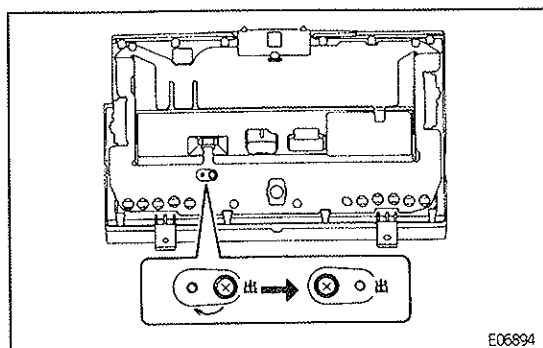
- (7) ODO/TRIP 切り替えスイッチを押して交換設定値を書き換える。

注意 10 万 km までの距離数 (万 km) を表示させる。

〈参考〉 10 万 km 走行時以外は 1 回押すごとに 1 万 km 単位で加算される。

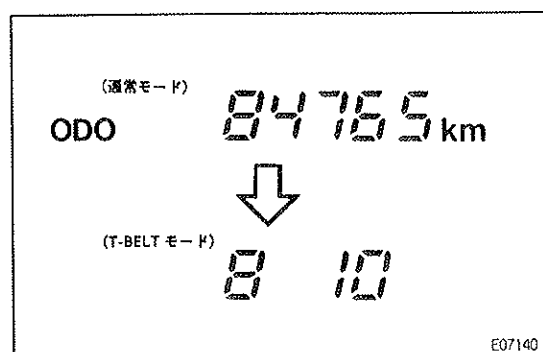


- (8) メーター裏面の T-BELT 用スクリューを初期位置 (出) に入れ換える。(T-BELT モード OFF)
- (9) エンジンを始動し、ウォーニングランプが消灯して ODO 表示に戻っていることを確認する。
- (10) コンビネーションメーターを取り付ける。

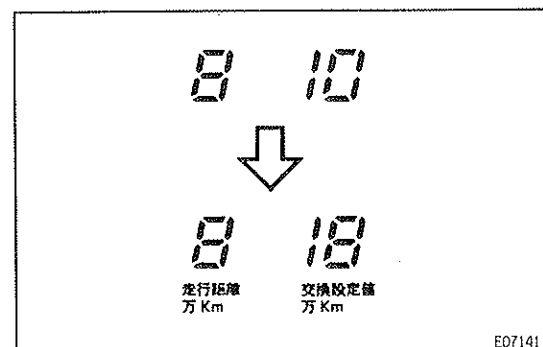


ウォーニングランプ点灯前にタイミングベルトを交換した場合

- (1) コンビネーションメーターを取りはずす。
注意 コネクターは接続したままにしておく。
- (2) メーター裏面の T-BELT モード用スクリューを入れ換える。
 (T-BELT モード ON)
注意 イグニッションスイッチは OFF で行う。

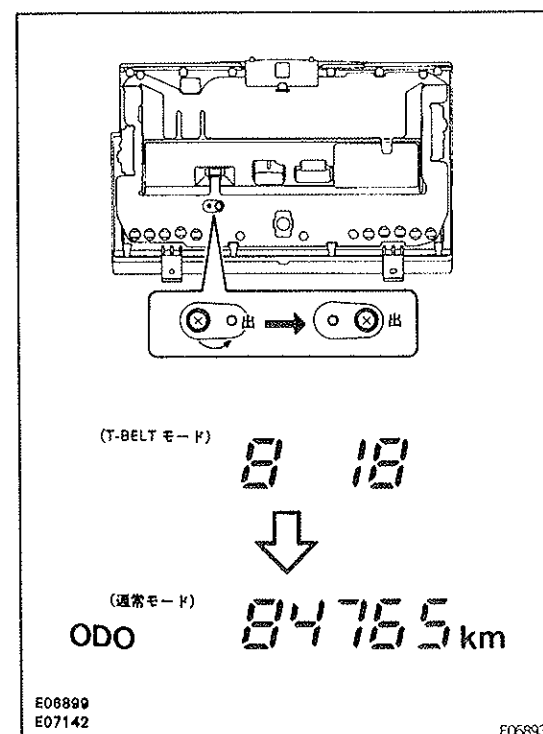


- (3) イグニッションスイッチを ON にし、メーターの ODO/TRIP 表示部が T-BELT モード表示になっていることを確認する。

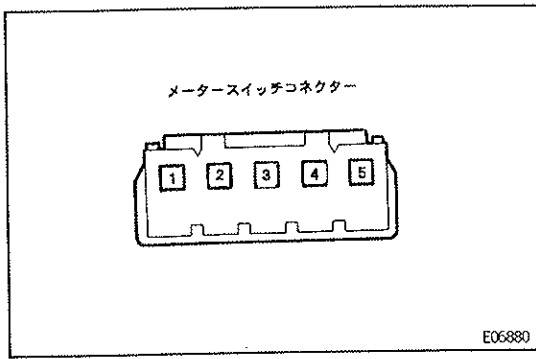


- (4) ODO/TRIP 切り替えスイッチを押して、交換設定値を書き換える。

〈参考〉 ・ 10 万 km 走行時以外は 1 回押すごとに 1 万 km 単位で加算される。
 ・ 左側の走行距離 (万 km) に 10 (万 km) を加算した交換設定値に書き替える。



- (5) メーター裏側の T-BELT 用スクリューを初期位置 (出) に入れ替える。(T-BELT モード OFF)
- (6) エンジンを開始し、ウォーニングランプが消灯して ODO 表示に戻っていることを確認する。
- (7) コンビネーションメーターを取り付ける。



トータルカウンター (デジタルメーター)

メータースイッチ点検 (オド/トリップ, リセット)

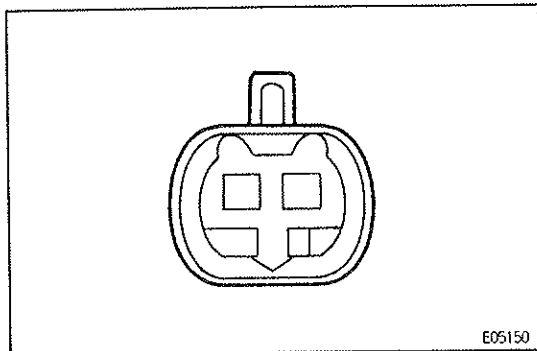
1 導通点検

- (1) コンビネーションメーター ASSY からメータースイッチのコネクターを取りはずす。
- (2) メータースイッチを押したときのスイッチ側のコネクターの各端子の導通を点検する。

基 準

端 子 番 号	1	2	3
OFF			
リセット	○	○	
オド/トリップ	○		○

JA5801



エンジンオイルレベルウォーニング

エンジンオイルレベルウォーニング点検

1 作動点検

- (1) エンジン回転中に、エンジンオイルレベルセンサーのコネクターを切り離して、エンジンオイルレベルウォーニングランプの状態を点検する。

基 準 コネクターを切り離した後、ランプが点灯するまでの時間

アナログメーター……………40±11 秒後

デジタルメーター……………40±7.5 秒後

エンジンオイルレベルセンサー点検

1 導通点検

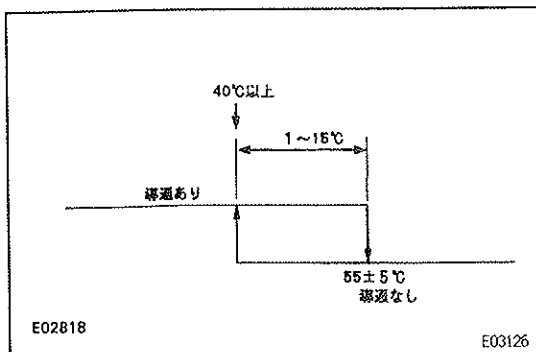
- (1) センサーが 60℃以上の状態で、フロートを上下したときのコネクター端子間の導通を点検する。

基 準 フロートを上げた時……………導通あり

フロートを下げた時……………導通なし

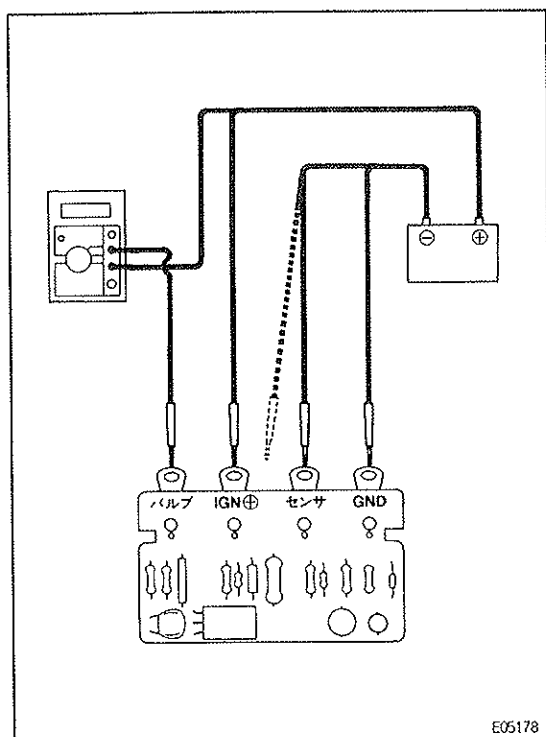
- (2) フロートを下げた状態で、センサーの雰囲気温度を変化させたとき、コネクター端子間の導通を確認する。

基 準 図に示す



E02818

E03126



ディレイサーキットプレート（オイルレベル遅延用）

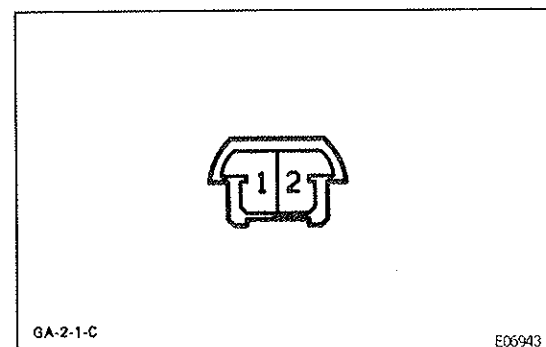
1 作動点検

- (1) コンビネーションメーター ASSY からディレイサーキットプレート（オイルレベル用）を取りはずす。
- (2) サークットプレートの IGN ⊕ 端子にバッテリー ⊕, GND およびセンサー端子にバッテリー ⊖ を接続する。
- (3) サークットプレートの IGN ⊕ 端子にテスターの ⊕, バルブ端子にテスターの ⊖ を接続し、電圧を点検する。

基準値 0V

- (4) センサー端子からバッテリー ⊖ を切り離れたときの、電圧変化を点検する。

基準 約 10~14V



シートベルトウォーニング

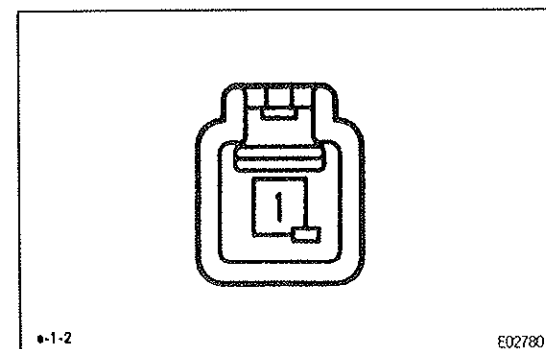
T0023758

バックルスイッチ点検

1 導通点検

- (1) 運転席シートベルトのバックルスイッチコネクタを切り離す。
- (2) バックルスイッチコネクタ端子間の導通を点検する。

基準 フリー時……………導通あり
 タングプレートセット時……………導通なし



ブレーキウォーニング

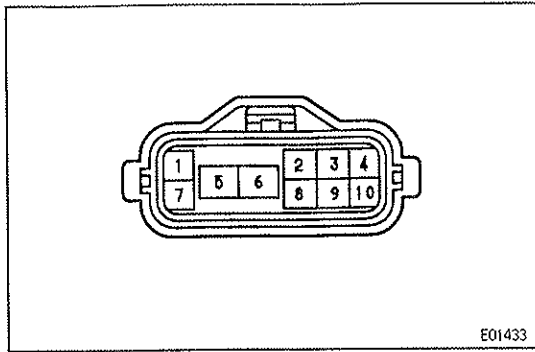
T0023759

パーキングブレーキスイッチ

1 導通点検

- (1) パーキングブレーキスイッチコネクタの端子とボデーアース間の導通を点検する。

基準 シャフトを押したとき……………導通なし
 シャフトがフリーのとき……………導通あり



シフトポジションインジケータ

- 注意** シフトレバーはPレンジにシフトし、イグニッションスイッチはスタート位置まで回さない。

シフトポジションインジケータ点検

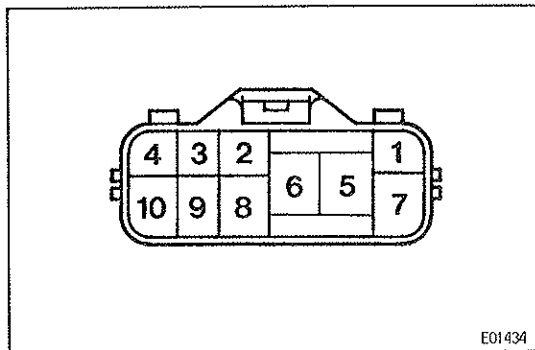
1 回路点検

- (1) ニュートラルスタートスイッチのコネクタの接続を切り離す。
- (2) イグニッションスイッチをONにする。
- (3) ニュートラルスタートスイッチの車両W/H側コネクタの各端子間を短絡し、各ポジションランプの点灯を確認する。

- 注意** Rシフトポジションランプが点灯したときにコンビネーションメーターに内蔵されたリバースウォーニングブザーが吹鳴することを確認する。

基準

端子番号	短絡端子	点灯するポジションランプ
7↔4	PL↔C	P
8↔4	RL↔C	R
10↔4	NL↔C	N
9↔4	DL↔C	D
2↔4	2L↔C	2
3↔4	LL↔C	L



ニュートラルスタートスイッチ

1 導通点検

- (1) ニュートラルスタートスイッチのコネクタを切り離す。
- (2) ニュートラルスタートスイッチのコネクタ各端子間の導通を点検する。

基準

○—○導通あり

端子番号 端子名 シフト位置	6 B	5 N	4 C	7 PL	8 RL	10 NL	9 DL	2 2L	3 LL
P	○—○		○—○						
R			○—○		○—○				
N	○—○		○—○			○—○			
D			○—○				○—○		
2			○—○					○—○	
L			○—○						○—○